

## 森林環境教育(森林ESD)活動報告・意見交換会発表概要

### ① 活動報告課題名

キャリアデザインも考えた高校での「森林体験」授業

### ② 発表団体名

学校法人 YMCA学院高等学校

### ③ 発表概要

#### 1. YMCA学院高等学校の概要

YMCA学院高等学校は2002年に開校した通信制・単位制・総合学科の高校で、必修科目に加え、エコロジー、福祉、多文化共生、ウェルネスなどの選択専門科目などがあります。不登校で少しずつ学校に行きたい人、人間関係が難しくて高校を辞めることを考えている人、既存の高校教育になじみにくい人、やりたいことをしっかり持っている人など多様な人々を対象とした高校です。

#### 2. 「森林体験」授業

森林体験はエコロジー系列の選択科目として、森林に親しみを持つことを目的に開講しました。座学(教室内)と実習(枚方野外活動センターまたは河内長野の森林)で50分×8コマの授業です。

#### 3. 授業の柱

この授業では大きくみつつの柱をおいています。

ひとつ目は森林についてよく知る事。森林とはどういうものか、私たちが受けている恩恵や日本の森林と世界の森林の状況、日本の森林の変遷と私たちの生活とのつながりを学びます。対話型の授業し、ポイントポイントで生徒たちに質問を投げかけ、答えてもらいます。森林に関しては「切ってはダメ」という知識だけある生徒が多く、様々な視点から森林について考えたことがないので、じっくりと森林と自分とのつながりについて考える機会にしています。

ふたつ目は体験です。長年活動をされているNPO法人森林ボランティア竹取物語さんやNPO法人里山倶楽部さんの協力を得て、木の間伐を体験します。知識として知ったことも実際に行ってみると、五感で感じ、森林を守るという活動には努力が必要だということも学べます。また、市民団体の方からお話を聞き、年配の方がボランティアで活動している姿を間近で見ること、ボランティアに参加することの意義や市民活動によって支えられている社会があることを知り、異年齢交流にもなっています。

みつつ目は働く場としての森林を見せる事です。生徒たちのほとんどは将来、会社に雇われ、事務所で働くというイメージを持っています。そこで、箕面森林ふれあい推進センターの方に来ていただいて、仕事の内容を説明してもらうことで、森林を守ることはボランティアで

行うのみならず、仕事としても行うことができるということを、知ってもらいます。

#### 4. 成果

YMCA高校に通っている生徒は、多様な大人と接する機会をあまり有していません。ですから、実際に森林について勉強しても、知識として終わってしまいますが、森林保全をされているNPOや行政の方と直接会って、お話を聞くことで、進路の一つや生き方の一つとしての環境保護について考えるようになりました。多くではありませんが、この授業を受けて、自然を相手にする農業を仕事にしたいと言い出す生徒やボランティア活動に参加していきたいと情報を求める生徒が出てきています。

#### 5. 今後

今までの環境教育は知識伝達や日常でできるような行動変容に焦点を当てられていました。YMCAが行う森林ESDでは森林とのつながりを尊重する生徒を育成すると共に、更に、今後の進路の一つとして、森林保全を仕事にしたり、ボランティアで森林活動をすることで心を豊かにする道があるということを知り、具体的な持続可能な社会の担い手を育成することを重視しています。YMCAの生徒の中には、既存の学校システムに合わず、人間関係で悩んだ心の痛みを抱えている生徒、発達障害を持っている生徒が多くいます。今後、そんな自己肯定感の低い生徒が、森林ESDを通して、環境保全を仕事やライフワークにしていくことを望んだときに、学校側として充実した情報やネットワークなどのサポート体制を充実していくことが重要だと思います。